

## 山中 竹春 横浜市長がフランスを訪問しました

姉妹都市 リオン市、リオン・メトロポール、パリ市、OECD 等とのトップ会談等を通して  
脱炭素分野を中心に幅広く連携していくことを確認しました

山中 竹春 横浜市長がフランスを訪問し、トップ会談等を行い、「GREEN×EXPO 2027」の成功と脱炭素社会の実現に向けた連携・協力の強化、欧州における横浜市のプレゼンス向上等を図りました。

- 姉妹都市リオン市長、リオン・メトロポール<sup>※1</sup>プレジデントとの協議  
脱炭素等の共通する政策課題について連携・協力を強化することを確認し、併せて環境をテーマとする「GREEN×EXPO 2027」に向けた連携・協力関係を構築しました。
- OECD(経済協力開発機構)幹部との協議  
アジアにおける大都市の成長、気候変動、包摂的成長をはじめとする諸課題について議論し、今後の連携・協力を強化することになりました。新たに「包摂的成長のためのOECD チャンピオン・メイヤー」<sup>※2</sup>に就任しました。
- パリ市 気候変動担当副市長との協議  
脱炭素に向けた両市の現状と課題を議論し、今後の連携・協力関係を構築しました。
- CLAIR(自治体国際化協会)パリ事務所長との面会・意見交換  
「GREEN×EXPO 2027」について説明し、欧州諸都市に向けた情報発信等への協力を依頼しました。
- JETRO(日本貿易振興機構)パリ事務所長との面会・意見交換  
脱炭素やモビリティ分野での横浜市の取組を説明するとともに、欧州スタートアップの横浜への誘致とオープンイノベーション推進等への協力を依頼しました。
- ワールドラグビー(ラグビーの国際競技連盟)ほかラグビー関係団体との協議  
環境に配慮した大会会場や運営のあり方に関する協議を行うとともに、横浜市の国際スポーツ大会の実績を発信し、ラグビー国際イベントの横浜誘致等に向けたトップセールスを行いました。

### 1 期間および主な日程 令和5年10月22日(日)～10月26日(木)

日程	内容
10月22日(日)	・日本発(午前)、パリ着(夜)
10月23日(月)	・CLAIR(自治体国際化協会)パリ事務所長との面会・意見交換 ・OECD(経済協力開発機構)幹部との協議 ・パリ市 気候変動担当副市長との協議 ・ワールドラグビー幹部との協議 ・JETRO(日本貿易振興機構)パリ事務所長との面会・意見交換
10月24日(火)	・リオン市長との協議 ・イノベティブエリア「Biodistrict」訪問 ・リオン・メトロポール プレジデントとの協議 ・リオン市立図書館 訪問
10月25日(水)	・リオン発(早朝) (10月26日(木)・日本着(朝))

## 2 姉妹都市リヨン市長、リヨン・メトロポール※1プレジデントとの協議

両自治体が進める脱炭素の取組について協議するとともに、「GREEN×EXPO 2027」の成功を視野に入れた協力等について依頼を行いました。その後、リヨン市立図書館やリヨン市がイノベティブなまちづくりを進めるエリア「Biodistrict(バイオディストリクト)」を訪問しました。



姉妹都市 リヨン市長との協議



リヨン・メトロポールとの協議



リヨン市立図書館訪問

※1 リヨン・メトロポール…フランスにおける大都市制度に基づき、県の権限を有する広域自治体。

## 3 OECD(経済協力開発機構) 幹部との協議

OECD 本部で事務次長、起業・中小企業・地域・都市センター長と会談し、アジアにおける大都市の成長、気候変動、包摂的成長などの諸課題の解決をテーマに協議しました。また、OECD が設立した都市の首長ネットワーク「包摂的成長のための OECD チャンピオン・メイヤーズ」※2 のメンバーに新たに就任し、OECD の政策アナリストから取材を受けました。



OECD との協議



チャンピオン・メイヤー就任に伴う取材

※2 包摂的成長のための OECD チャンピオン・メイヤーズ(OECD Champion Mayors for Inclusive Growth):包摂的な成長の推進に取り組む世界の首長連合。パリ市長、ローマ市長、ハンブルク市長等が参加し、現在 66 首長(横浜市長含む)から構成される。国際会議主催やウェブサイトでの発信などを通じ、包摂的成長に向けた協議・事例共有、政策提言等を行っている。

## 4 パリ市 気候変動担当副市長との協議

世界気候エネルギー首長誓約(Global Covenant of Mayors for Climate and Energy)では、山中市長が東アジア地域を代表する理事を、パリ市長がアンバサダーをそれぞれ務めています。脱炭素政策を推進する大都市の立場から、両市の脱炭素政策の現状や課題について幅広く意見交換を行い、今後の両市の連携・協力関係について協議しました。



パリ市 気候変動担当副市長との協議

## 5 CLAIR(自治体国際化協会)パリ事務所長との面会・意見交換

CLAIR(自治体国際化協会)パリ事務所の現況等についてお話を伺いました。「GREEN×EXPO 2027」など横浜市の施策・取組を説明し、欧州諸都市との連携や情報発信等への協力を依頼しました。



CLAIR パリ事務所長との面会・意見交換

## 6 JETRO(日本貿易振興機構)パリ事務所長との面会・意見交換

フランスの政治経済に関する最新情報についてお話を伺いました。また、脱炭素やモビリティ分野での横浜市の取組について説明するとともに、欧州スタートアップの横浜への誘致やオープンイノベーション推進等について協力を依頼しました。



JETRO パリ事務所長との面会・意見交換

## 7 ワールドラグビー(ラグビーの国際競技連盟)ほかラグビー関係団体との協議

ワールドラグビーが発出した「環境サステナビリティ計画 2030」の下での環境に配慮した大会会場や運営のあり方について、ワールドラグビー幹部と協議を行いました。また、横浜市のスポーツ行政の取組や国際イベントの開催実績・ノウハウを発信し、ラグビーの国際イベントの開催に相応しい都市であることを説明しました。自治体ワンチーム会長<sup>※3</sup>として出席したラグビー関連行事では、今後の国際イベント等の誘致に向けた関係性を世界のラグビー諸団体に対して構築しました。



ワールドラグビーとの環境に配慮した大会会場や運営のあり方についての協議



ラグビー関連行事でのスピーチ

※3 自治体ワンチーム…正式名称は「ラグビーとの地域協創を推進する自治体連携協議会」。ラグビーワールドカップ 2019 を契機とした盛り上がりを一過性のものとせず、日本全国におけるラグビーの普及・振興、ラグビーを行う環境の整備、ラグビーを通じた街づくり等を目指して 2020 年 3 月 10 日に設立。加盟自治体数は 152(令和5年 10 月 27 日現在)。

【以下参考】

リヨン市との交流
<p><b>■1959(昭和 34)年 4 月 姉妹都市提携</b></p> <p>リヨンは、ヨーロッパにおけるシルクロードの最終地点として古くから絹織物産業が発展していました。しかし、19 世紀にヨーロッパで発生したカイコの病気がヨーロッパ全体に広まり、絹の入手が困難となりました。その危機を救ったのが、横浜港から輸出された日本の生糸。絹がとりもつ縁によって両市は友好関係を築いていき、1959 年に姉妹都市の提携に至りました。その後、相互往来等を通じ、連携を深めています。</p>
<p><b>■リヨン市概要</b></p> <p>パリ地域圏に次ぐフランス第2の経済圏であるローヌ・アルプ地方の首都。北ヨーロッパと地中海地域の接点に位置。人口は約 50 万人。なお、リヨン市を中心とする大都市圏(リヨン・メトロポール)の人口は約 130 万人。</p>

お問合せ先	
(市長のフランスでの行程全般に関すること)	
国際局国際連携課欧州米州担当課長	川島 とも子 Tel 045-671-4721
(OECD との協議に関すること)	
国際局国際協力課長	赤坂 真司 Tel 045-671-2078
(ラグビーに関すること)	
にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課担当課長	吉田 登 Tel 045-671-3201